

SC-49 セントピートの郊外

“The suburbs of St. Pete”

by Lary Faris

抄訳 薩川俊三

シャフルボード開始の際に最も使われる基本プレーはセントピートを置くことで、セントピート・パイロット、クロスコート・ブロックとも呼ばれる。シャフラーの多くがこのプレーに精通している。セントピートは何かと尋ねると、恐らく全員が同じ回答をするであろうが、セントピートは全てを同じ様に置かない。状況により置く位置を変える。セントピートにはいくつかの郊外がある。

普通は、セントピートは10の頂点の高さで、10の頂点とコートの外側端との間のほぼ真ん中に置く（図のA）。しかしセントピートを北東の郊外、即ち少しコートの外側端寄りでコートの少し先の位置（図のB）に置いた方がよい二つの状況がある。一つはリードしていて、対戦相手にスーサイド・アレー（自殺の小道。セントピートとコート端の間のキッチンに入り易い経路）ショットを絶対にさせたくないゲームの状況だ。もう一つは、コートの真ん中方向の強いドリフトが、スーサイド・アレーをセブンス・ヘブン（天国の7エリア）に変えるコートの状況だ。これらの状況では、セントピートをB点に置くのが効果的だ。

セントピートを南の郊外、即ちデッドラインに近い位置（図のC）に置いた方がよい二つの状況がある。これはハイ・セントピートと呼ばれる。一つは7得点よりももっと8得点を必要としているゲームの状況で、ハイ・セントピートは、8得点を隠すスペースを広くする。もう一つは、真ん中方向への強いドリフトが、ディスクを隠すショットを戻してしまうコートの状況だ。これらの状況では、セントピートをC点に置くのが効果的だ。

真ん中へのドリフトが非常に強くて、ディスクを隠すことが全く出来ないコートでは、セントピートをずっと北の郊外（図のD）、即ち8/10ラインが外側ラインと交わる地点に置く。その場所のセントピートは、その背後に隠そうとする代わりに、8エリアにバンプする（突き進める）ことができる。それは難しいコートの最後の行楽地だ。セントピートをシュートする時は、いいかげんではいけない。ハンマーをシュートする時と同様に慎重にしよう。

